

2009-2016年 アースネットワーク 活動レポート

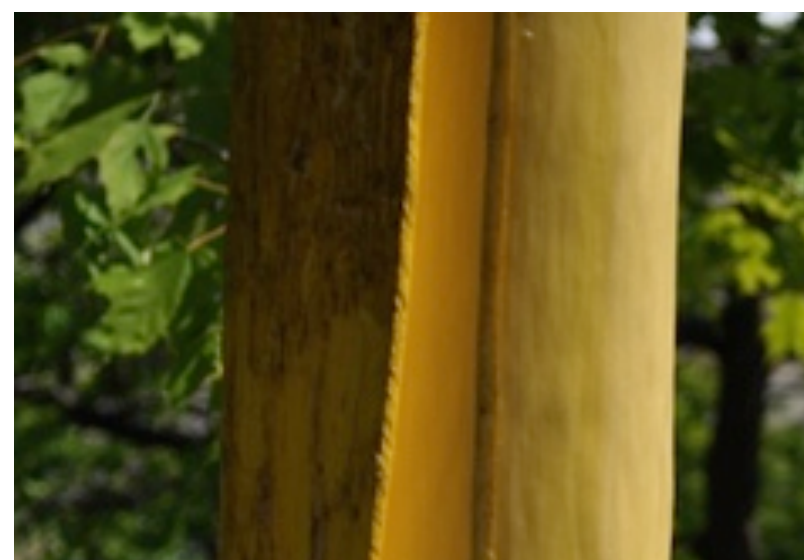
染料植物の調査研究、種の頒布、契約農家との栽培と染料調整の研究、染色技法の調査、研究、開発を繰り返し、データ化する。
ニホンアカネ、ムラサキ、キハダ、ミズナラ、ザクロ、虫こぶ、藍5種類を使い、麻、綿、和紙、絹、羊毛を染め、資料を作成する。



上：ニホンアカネ 下：ニホンアカネの生根



上：ムラサキ 下：生紫根



上：キハダの皮剥ぎ 下：内樹皮の黄槳



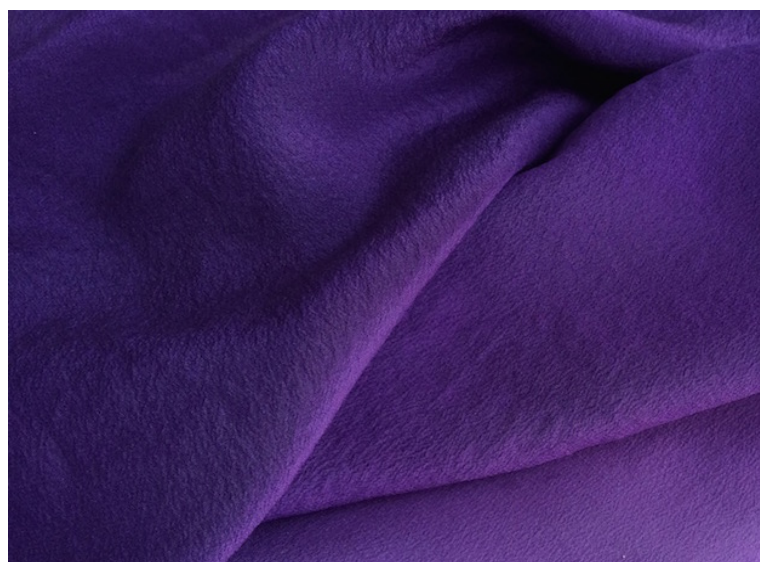
下：ニホンアカネの根で染めた座繰り絹糸と麻布



下：紫根で染めた絹布



下：左から染料薬用植物で染めた麻布



2012～2016年 リュウキュウアイの栽培と沈殿藍製造の実践と研究、発酵による藍建て方法の研究 沖縄

リュウキュウアイの挿し木作りから始まる栽培～収穫～浸け込み～発酵～藍成分抽出～酸化作業、沈殿～貯蔵～pH管理。琉球藍灰汁発酵建て仕込み～pH管理～発酵～染色。染色試験、科学者たちとの協働による微生物の検出、計測、遺伝子解析



△収穫



△山の水で沈殿槽を満たす



△収穫した茎葉を浸け込み、重石をする



△24時間経過、発酵が進む



△約50時間後、葉を取り出し酸化



△沈殿した琉球藍



△琉球藍灰汁発酵建て



△染色中の還元した色

2009～2014年 福岡、東京、葉山、小樽、タデアイ生葉染の沈殿藍作り、すくも藍灰汁発酵建て講座

タデアイから作られたすくも藍の仕込み～アルカリ性材料と養分の選択、pH管理～染色。堅牢度試験、科学者たちとの協働による微生物の検出、計測、遺伝子解析 藍染の色のパレット制作。藍建てテキスト作成、ワークショップ開催、他の藍染料との工程や色の比較



△タデアイの沈殿藍作り



△沈殿したタデアイ顔料



△すくも藍灰汁発酵建ての管理



△藍のパレット10色作り

2008~2012年 天然染料顔料定期講座、資料展、天然の色展、2015年例会：袋真綿制作、藍型糊作りと紅型染

天然染料による型染制作、札幌



藍と紅花から色を作る 東京



紅花と藍のワークショップ 滋賀



インド茜顔料作り 福岡



天然染料と絹による資料展 2009年12月東京



天然の色展 2012年10月宮城県美術館



絹真綿作り 東京例会 2015年2月



型染糊作りと紅型染講座 札幌例会 2015年10月



2015年1月東京例会 色彩のギャラリーでの絹布展示と絨毯の解説、絨毯メンテナンス工房見学

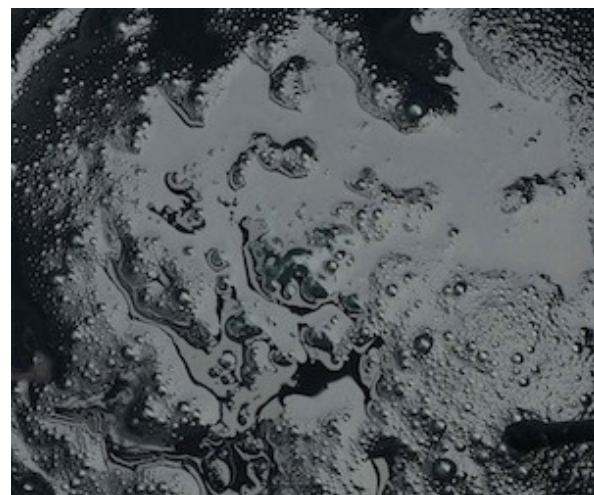


2015年4月東京例会 すくも藍、琉球藍、インド藍建てワークショップ

4月11日に藍染料それぞれの仕込みを行い、毎日攪拌とpH計測、保温を行い、発酵を確認、14日にかさ上げ、15日還元を確認、16日試験染、18日完了



△すくも藍仕込み



△琉球藍仕込み



△インド藍仕込み



△15日すくも藍灰汁発酵建て発酵完了



△15日琉球藍灰汁発酵建て還元



△16日インド藍建て初染め



△藍建て3種藍 保温



△上：琉球藍、左下：すくも藍、右：インド藍

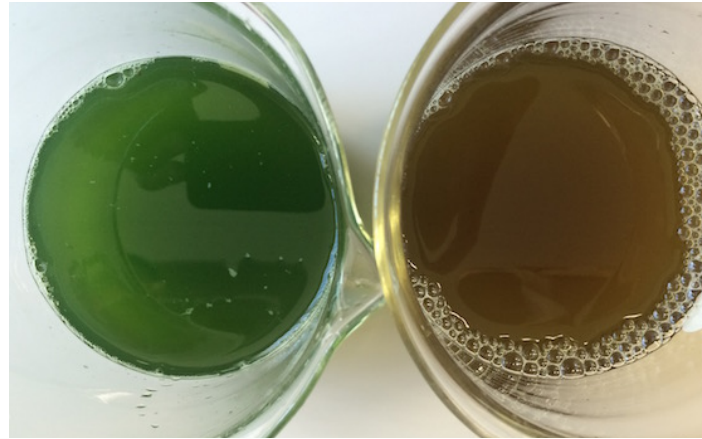
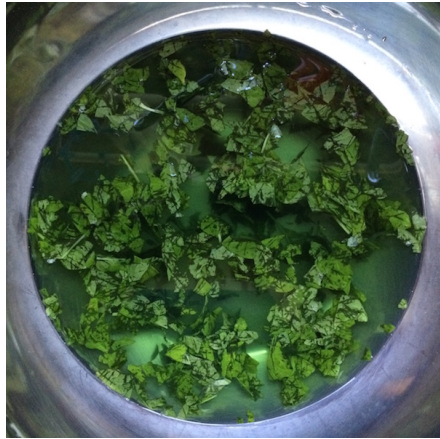
2014年滋賀 材料からのアプローチ、インド更紗ワークショップ, MIHOミュージアム

インド更紗に使用される材料を調べ、アカネ染の色と布の表裏の特徴から技法を推測し、ワークショップで各自が更紗技法で作品を制作した



生涯学習講座（北海道医療大学）での染料・薬用植物を使った染色講座 ,2009-2016

薬草園で栽培したタデアイを使い、常温と湯による抽出で生絹を2段階の藍色に染めた



薬草園で栽培した紫草の生紫根から湯揉み出しで色素抽出し生絹を紫色に染めた

